

令和元年(2019年)9月29日 (日曜日)



現行の施設計画案(建物配置図)を示し市民と意見交換する豊岡市長(中央)ら＝三島市民文化会館

口南 三島 三島 三島 三島 三島  
発開 駅再 東街 東街 東街 東街 東街

## 歩行者デッキ挟み建物八つ

# 市民説明会で現行案示す

三島市は27日夜、三島駅南口東街区の再開発事業をテーマにした市民説明会を市民文化会館で開いた。事業協力者からの変更点として、市は「タワー棟からホテル機能を別棟に移して2層減らし、高さ9層下がった。一番高い所までは約90・6層になる。駅前広場として「定借エリアに

側から街区の東側や、南東側の道路とつながる歩行者デッキを挟んで、両側に計八つの規模が異なる建物を配置している」と説明。北東側の駐車場は「2棟建てから1棟建てにすることで、効率化を図る考え」とした。

4階建ての商業施設、市街地再開発エリアには商業や医療施設、住宅など22階建て建物。その隣には6層7段の立体駐車場」と説明。街区南側・南東側の建物は「南側には下の2層が商業施設、上が住宅の5階建てと12階建ての建物。南東側は12

市は今後の協議で計画案の変更の可能性もあるとした上で、立体駐車場に関し「提案の2棟建てを、1棟に集約することでより効率的な車室の配置が可能になった」と述べた。

街区南と東側に1カ所ずつ、計2カ所の出入り口を設けるといふ。今後、2020年度に都市計画決定、25年度中の竣工を目指す。広域健康医療拠点として整備する計画で、総事業費は211億円、実質的な市負担は56億円と見込みを改めた。空き地を生かした歩行者デッキは「イベントも開催できるオープンスペースとしての活用も視野。歩行空間も十分な幅員を確保する」とした。市民からは「三島のにぎわい創出、市内の回遊性向上に期待する」「次世代への負の遺産とならないか心配だ」など、賛否両論。県知事発言などを引き合いに「もっと広域的な視点に立つた開発が必要では」といった指摘もあった。